

90	症状が全くないか、ほんの少しだけ（例：試験前の軽い不安）。すべての面でよい機能で、広範囲の活動に興味をもち参加し、社会的にはそつがなく、生活に大体満足し、日々のありふれた問題や心配以上のものはない（例：たまに家族と口論する）。
80	症状があったとしても、心理社会的ストレスに対する一過性で予期される反応である（例：家族と口論した後の集中困難）。社会的、職業的、または学校の機能にごくわずかな障害以上のものはない（例：一時的に学業で後れをとる）。
70	いくつかの軽い症状がある（例：抑うつ気分と軽い不眠）、または、社会的、職業的、または学校の機能にいくらかの困難はある（例：時にずる休みをしたり、家の金を盗んだりする）が、全体的には機能はかなり良好であって、有意義な対人関係もかなりある。
60	中等度の症状（例：感情が平板で、会話がまわりくどい、時にパニック発作がある）、または、社会的、職業的、または学校の機能における中等度の困難（例：友達が少ししかいない、仲間や仕事の同僚との葛藤）
50	重大な症状（例：自殺念慮、強迫的儀式が重症、しょっちゅう万引する）または、社会的、職業的、または学校の機能における何らかの深刻な障害（例：友達がいない、仕事が続かない）
40	現実検討か疎通性にいくらかの欠陥（例：会話は時々非論理的、あいまい、または関係性がなくなる）、または、仕事や学校、家族関係、判断、思考、または気分など多くの面での重大な欠陥（例：抑うつ的な男が友人を避け、家族を無視し、仕事ができない。子どもがしばしば年下の子どもをなぐり、家庭では反抗的であり、学校では勉強ができない）
30	行動は妄想や幻覚に相当影響されている、または疎通性が判断に重大な欠陥がある（例：時々、滅裂、ひどく不適切にふるまう、自殺の考えにとらわれている）、または、ほとんどすべての面で機能することができない（例：1日中床についている、仕事も家庭も友達もない）。
20	自己または他者を傷つける危険がかなりあるか（例：はっきりと死の可能性を意識しない自殺企図、しばしば暴力的になる、躁病性興奮）、または、時には最低限の身の清潔維持ができない。（例：大便を塗りたい）、または、疎通性に重大な欠陥（例：大部分滅裂か無言症）
10	自己または他者をひどく傷つける危険が続いている（例：暴力の繰り返し）、または最低限の身の清潔維持が持続的に不可能、または、はっきりと死の可能性を意識した重大な自殺行為
0	情報不十分

Q&A

Q：医療資源を最も投入した傷病名が MDC17 に該当する場合のみ入力が必要なのか。入院時併存病名等が該当する場合も必要なのか。

A：医療資源を最も投入した傷病が MDC17 に該当又は、精神病床へ入院のあった場合、入力が必要。

(4) 退院時GAF尺度

(40)入院時GAF尺度と同様の入力要領。

Q&A

Q：死亡退院はどのように入力するのか。

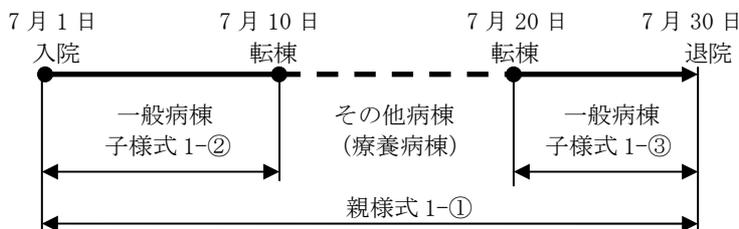
A：「0」とすること。

Q&A

Q：一般病棟から療養病棟等へ転棟した場合、どの時点で入力するのか。

A：親・子それぞれの様式1の範囲で入力する。

例



	(40)入院時 GAF 尺度	(41)退院時 GAF 尺度
親様式 1-①	7月1日入院時点	7月30日退院時点
子様式 1-②	7月1日入院時点	7月10日転棟時点
子様式 1-③	7月20日転棟時点	7月30日退院時点